

第 7 期琵琶湖に係る湖沼水質保全 計画関連事業の実績状況

令和 3 年 6 月 2 2 日
滋賀県琵琶湖環境部

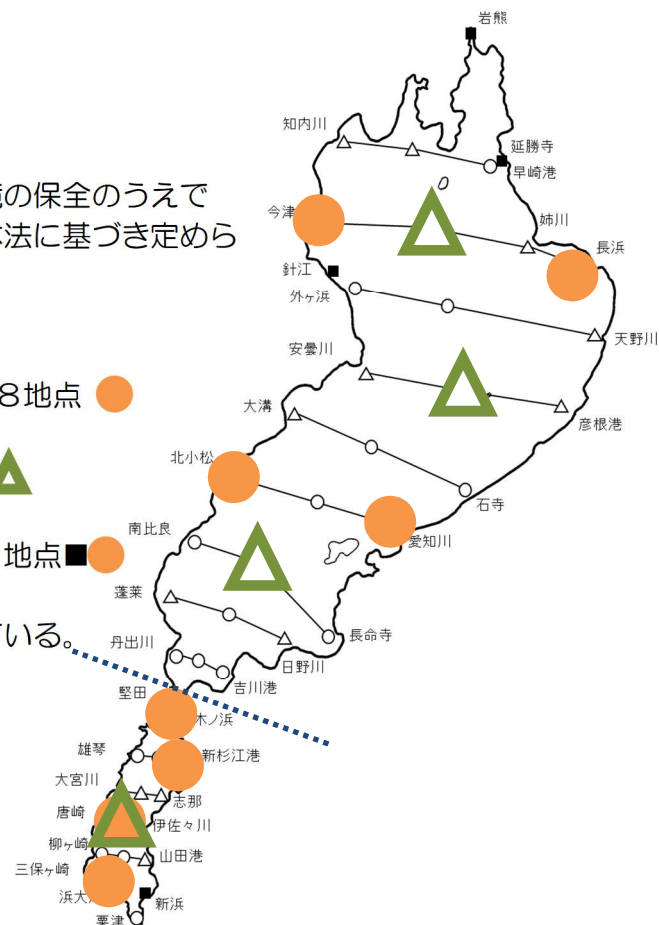
〈琵琶湖における水質環境基準の状況〉

環境基準とは、人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持することが望ましい基準であり、環境基本法に基づき定められている。

琵琶湖においては、

- COD 等生活環境項目に係る環境基準点は8地点 ●
- 富栄養化項目に係る環境基準点は4地点、▲
- 水生生物保全項目に係る環境基準点は12地点 ■ ●

が定められている。



令和2年度の琵琶湖における水質環境基準の状況は以下のとおりである。

①COD 等生活環境項目

	項 目	基準値	R2 年度 測定値等	R2 年度中 最小～最大
北湖	pH	6.5以上 8.5以下	38/48	7.2～9.2
	COD (mg/L)	1 以下	2.8	1.9～3.7
	SS(mg/L)	1 以下	23/48	<1～3
	DO(mg/L)	7.5 以上	48/48	7.8～11.9
	大腸菌群数(MPV/100mL)	50 以下	14/48	<2～24,000
南湖	pH	6.5以上 8.5以下	39/48	7.3～9.5
	COD (mg/L)	1 以下	5.3	2.2～7.6
	SS(mg/L)	1 以下	2/48	<1～23
	DO(mg/L)	7.5 以上	47/48	7.0～12.3
	大腸菌群数(MPV/100mL)	50 以下	11/48	8～130,000

- CODは各環境基準点の75%値※のうち、最も高い地点で判定

※75%値：年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n 番目

- COD 以外は、日間平均値が環境基準を達成した割合で判定（延べ達成日数/延べ測定日数[4地点×12回]）

②富栄養化項目

	項 目	基準値	R2 年度 測定値	R2 年度中 最小～最大
北 湖	T-N(mg/L)	0.2	0.20	0.13～0.31
	T-P(mg/L)	0.01	0.007	0.004～0.011
南 湖	T-N(mg/L)	0.2	0.24	0.16～0.33
	T-P(mg/L)	0.01	0.015	0.013～0.020

・各環境基準点の年間平均値のうち、最も高い地点で判定

③水生生物保全項目

全亜鉛、ノニルフェノール、LAS について、全地点で環境基準を達成。

COD（化学的酸素要求量）

水中の有機物を酸化剤で化学的に酸化する際に消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもの。

有機汚濁の指標。

有機物を分解する際に溶存酸素が消費されることによって生じる生物生息環境への影響および悪臭、着色などの生活環境への影響が考えられる。

T-N（全窒素）および T-P（全りん）

富栄養化の代表的な原因物質。

湖沼や内湾などの停滞性水域に大量の栄養分（窒素・リン等）が流入すると、富栄養の状態となり、水域内部での一次生産量（植物プランクトン）が増加して二次生産者（動物プランクトンなど）による補食が追いつかないために生態系のバランスが崩れる。富栄養化による障害は植物プランクトンの異常発生による濁り、浄水場のろ過障害、清水性魚介類の生息障害などがあり、富栄養化による極端な例が赤潮やアオコ現象。

1. 湖沼水質保全計画の経過

湖沼水質保全特別措置法（以下、「湖沼法」と言う。）に基づき昭和 60 年度に琵琶湖が指定湖沼に指定され、昭和 61 年度に第 1 期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画（以下、「計画」と言う。）を策定して以来、5 年ごとに見直しを行っており、平成 28 年度に策定した第 7 期計画は、令和 2 年度をもって計画期間の満了を迎えた。そこで、今年度は第 7 期計画の評価を踏まえ、第 8 期計画を策定する。

また平成 18 年度には、琵琶湖の汚濁負荷量に占める割合が大きく、汚濁負荷削減対策を実施することが可能である地区として、湖沼法に基づき赤野井湾を流出水対策地区に指定し、同年度に赤野井湾流域流出水対策推進計画を策定し、第 5 期計画内に定めており、計画の見直しと並行して、流出水対策計画も見直しをおこなっている。

2. 計画の目的

水質の環境基準（COD、全窒素、全りん）の達成を目途としつつ、計画期間内（原則 5 年）に実施できる対策効果をもとに推計した水質目標の達成を目的とする。

3. 第 7 期計画期間

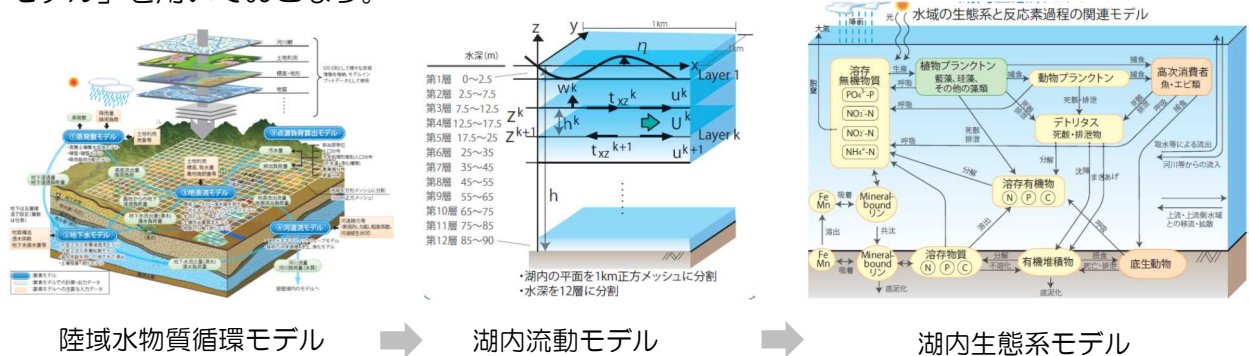
平成 28 年から令和 2 年度（5 年間）

4. 計画記載事項

- ① 計画期間
- ② 水質保全方針 重点的または新たな取り組み等
- ③ 水質の保全に資する事業
下水道、し尿処理施設、浄化槽、廃棄物処理施設、浚渫等の湖沼浄化対策等
- ④ 水質の保全のための規制その他の措置
工場・事業場の排水対策、生活排水対策、流出水対策、水草除去、ヨシ群落の保全等
- ⑤ その他水質の保全のために必要な措置
水質監視、調査研究、生態系の保全、環境学習、地域住民との協働等

5. 水質シミュレーション

水質の現況再現および将来予測に係るシミュレーションは、「琵琶湖流域水物質循環モデル」を用いておこなう。



6. 第7期計画における事業の進捗状況

(1) 水質目標値の達成状況(環境基準点)

(mg/l)

		平成27年度	令和2年度目標		過年度実績				
		実績	対策を講じ ない場合	対策を講じ た場合	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
COD	北湖	2.8	2.9	2.8	2.9	2.9	2.6	2.9	2.8
75%値	南湖	4.6	4.9	4.6	4.3	4.4	4.2	4.1	5.3
全窒素	北湖	0.25	0.24	0.24	0.23	0.22	0.21	0.20	0.20
年平均	南湖	0.24	0.25	0.24	0.25	0.23	0.32	0.22	0.24
全りん	南湖	0.012	0.013	0.012	0.013	0.014	0.017	0.011	0.015
年平均									

(2) 水質の保全に資する事業

①下水道整備計画

年度	指定地域内 行政人口	指定地域内 処理人口	指定地域 内普及率
平成27年度	1,400千人	1,251千人	89.4%
平成28年度	1,418千人	1,266千人	89.3%
平成29年度	1,417千人	1,271千人	89.7%
平成30年度	1,419千人	1,280千人	90.2%
令和元年度	1,419千人	1,293千人	91.1%
令和2年度	集計中	集計中	集計中
令和2年度目標	1,409千人	1,299千人	92.2%

②農業集落排水施設整備

年度	普及率
平成27年度	6.8%
平成28年度	6.6%
平成29年度	6.3%
平成30年度	6.0%
令和元年度	5.3%
令和2年度	集計中
令和2年度目標	5.0%

③合併処理浄化槽整備

年度	普及率
平成27年度	2.8%
平成28年度	2.7%
平成29年度	2.6%
平成30年度	2.5%
令和元年度	2.4%
令和2年度	集計中
令和2年度目標	2.1%

④汚水処理施設の普及率

年度	普及率
平成27年度	98.5%
平成28年度	98.6%
平成29年度	98.7%
平成30年度	99.3%
令和元年度	98.9%
令和2年度	集計中
令和2年度目標	99.3%

④廃棄物処理施設整備(新改築累積数)

年度	ごみ処理施設		リサイクルプラザ (粗大ごみ処理施設)		資源化を行う施設		埋立処分地施設 (最終処分場)	
	施設数	整備規模(t/日)	施設数	整備規模(t/日)	施設数	整備規模(t/日)	施設数	整備規模(m3)
平成27年度	14	1,569	13	371	19	152	16	1,644,000
平成28年度	14	1,498	13	313	14	148	15	1,411,000
平成29年度	14	1,447	13	313	14	137	15	1,428,000
平成30年度	14	1,475	13	308	14	130	14	1,240,000
令和元年度	14	1,550	13	308	14	135	15	1,428,000
令和2年度	14	1,550	13	293	14	132	15	1,428,000
令和2年度目標	14	1,475	14	320	15	152	14	1,236,000

第7期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画における事業一覧

	項目	第7期湖沼計画の目標	平成28年～令和2年事業実績	関係機関
計画期間内に達成すべき目標	水質目標値(mg/L) (令和2年度)	(北湖) COD75%値: 2.8 COD平均値: 2.4 全窒素: 0.24 (南湖) COD75%値: 4.6 COD平均値: 3.2 全窒素: 0.24 全りん: 0.012	(北湖) COD75%値: 2.8 COD平均値: 2.5 全窒素: 0.20 (南湖) COD75%値: 5.3 COD平均値: 3.5 全窒素: 0.24 全りん: 0.015 (R2年度水質)	-
水質の保全に資する事業	(1) 持続的な污水处理システムの構築	(滋賀県内污水处理施設の普及率) 下水道 92.2% 農業集落排水施設 5.0% 浄化槽 2.1% (合計) 99.3%	(滋賀県内污水处理施設の普及率) 下水道 91.12% (R1年度) 農業集落排水施設 5.34% (R1年度) 浄化槽 2.44% (R1年度) (合計) 98.9% (R1年度)	下水道課 農村振興課 循環社会推進課
	① 下水道の整備	面的整備の推進等	流域幹線: 2処理区 浄化センター: 4箇所	下水道課
	② 農業集落排水施設の整備	適正な維持管理	農業集落排水事業 機能強化工事 2処理区 機能診断調査 24処理区	農村振興課
	③ 浄化槽等の整備	生活排水対策の推進等	浄化槽の新規整備 156基 (H28年度) 148基 (H29年度) 139基 (H30年度) 120基 (R1年度) 88基 (R2年度) 651基 (合計)	下水道課 循環社会推進課
	(2) 廃棄物処理施設の整備	ごみ処理施設: 14施設 1,475t/日 粗大ごみ処理施設: 14施設 319.67t/日 資源化施設: 15施設 151.67t/日 最終処分場: 12施設 123万6千m3	ごみ処理施設: 14施設 1,550t/日 粗大ごみ処理施設: 13施設 292.67t/日 資源化施設: 14施設 131.57t/日 最終処分場: 15施設 142万8千m3	循環社会推進課
	(3) 湖沼の浄化対策			
	① 水草等の除去	水草等の刈り取りを実施	水草刈取・除去量 4,997t (H28年度) 4,523t (H29年度) 3,815t (H30年度) 4,067t (R1年度) 3,093t (R2年度) 20,495t (合計)	琵琶湖保全再生課
			水草刈取量 117.6t (H28年度) 309.8t (H29年度) 135.0t (H30年度) 193.0t (R1年度) 3.0t (R2年度) 758.4t (合計)	下水道課
			水草刈取量 557.4t (H28年度) 476.2t (H29年度) 292.2t (H30年度) 250.0t (R1年度) 486.2t (R2年度) 2,062.0t (合計)	流域政策局
	除去実施市町への支援 水草等たい肥を配布するなど水草の有効利用の推進		自治振興交付金を交付 延べ1,589人、648m3配布 (H28年度) 延べ1,696人、575m3配布 (H29年度) 延べ1,534人、420m3配布 (H30年度) 延べ856人、214m3配布 (R1年度) 延べ5,675人、1,857m3配布 (合計)	市町振興課 琵琶湖保全再生課
	水草対策技術開発支援		支援団体 3団体 (H28年度) 4団体 (H29年度) 5団体 (H30年度) 5団体 (R1年度) 7団体 (R2年度) 24団体 (延べ合計)	琵琶湖保全再生課
	水草対策調査・研究		水域生態系を健全に保つための持続可能な水草収獲量の推定するため、水草類ならびに環境要因のモニタリングを実施した。適正な水草量を含む管理基準の提言、生物群集への影響評価、水草成長モデルの構築を行った。 関係機関から構成する水草対策チームを設置し、効率的・効果的な水草対策をおこなうため、水草繁茂状況や水草関連試験研究等に関して情報交換をおこなった(合計11回)。	琵琶湖保全再生課 琵琶湖環境科学研究センター 琵琶湖博物館 他

	項目	第7期湖沼計画の目標	平成28年～令和2年事業実績	関係機関
水質の保全に資する事業		水草を摂食するワタカの放流	207千尾 (H28年度) 223千尾 (H29年度) 200千尾 (H30年度) 100千尾 (R1年度) 105千尾 (R2年度) 835千尾 (合計)	水産課
	②湖底の環境改善	南湖の湖底の耕うんや平坦化、砂地の造成	耕うん 261ha (H28年度) 261ha (H29年度) 284ha (H30年度) 261ha (R1年度) 1.3ha (R2年度) 1,068.3ha (延べ合計) 砂地の造成 4.3ha (H28年度) 5.0ha (H29年度) 2.0ha (H30年度) 4.5ha (R1年度) 3.8ha (R2年度) 19.6ha (合計)	水産課
	(4) 流入河川等の浄化対策			流域政策局
	①内湖の浄化対策	木浜内湖、平湖・柳平湖、西の湖において浚渫や覆土（植生護岸を含む）を実施	木浜内湖 覆砂・植生工 185.0m (H28年度) 36.0m (H29年度) 30.0m (H30年度) 32.5m (R1年度) 25.9m (R2年度) 309.4m (合計) 平湖・柳平湖 護岸工 95.0m (H28年度) 139.2m (H29年度) 234.2m (合計) 西の湖 浚渫土搬出工 7,000m3 (H28年度) 10,700m3 (H29年度) 8,200m3 (H30年度) 25,900m3 (合計)	流域政策局
	②河川の浄化対策	新守山川等において浄化施設を整備	天神川河口部において植生浄化施設の整備を実施。	流域政策局
		生態系に配慮した多自然川づくりによる河川改修	0.2kmかごマット・張りブロック (H28年度) 0.1km 植生ブロック (H29年度) 0.2km かごマット (H30年度) 0.4km かごマット (R1年度) 0.25km 連節ブロック (R2年度)	流域政策局
水質の保全のための規制その他の措置	(1) 工場・事業場排水対策			
	①排水規制等	立入検査等による排水基準等遵守の徹底、排水量10㎡以上の特定事業場に対する上乗せ排水基準による規制	規制対象に対する延べ1,250事業場の立入検査、1,560検体の排水検査を実施。	環境政策課
	②汚濁負荷量の規制	湖沼特定事業場に対する汚濁負荷量規制	汚濁負荷量規制対象について基準違反は認められない。	環境政策課
	③指導等	規制対象外事業場に対する指導	苦情処理時等において指導を実施。	環境政策課
		市町がおこなう下水道への接続促進に関する取組への支援	市町への支援のあり方について検討を行った。接続率向上に寄与するための方策提案に向けて業務委託を実施。	下水道課
	(2) 生活排水対策			
	水濁法に基づく生活排水対策の促進	「生活排水対策推進計画」に基づく対策の推進、「県生活排水対策推進条例」に基づく浄化槽の設置の徹底	浄化槽の設置義務に関する区域について条例に基づき告示を行った。また担当課HPにて条例の周知を行った。	循環社会推進課
	①下水道への接続の促進	下水道への接続の促進	滋賀県汚水処理施設整備接続等交付金 386件 63,566千円 (H28年度) 371件 61,837千円 (H29年度) 329件 62,217千円 (H30年度) 302件 62,113千円 (R1年度) 272件 45,073千円 (R2年度) 1,660件 294,806千円 (合計)	下水道課
	②浄化槽の適正な設置、管理の確保	浄化槽の適正な設置、管理の確保等	(公社)生活環境事業協会への事業委託により浄化槽管理者（所有者）への啓発等を実施した。また担当課HPで啓発を行った。 建築基準法の浄化槽確認	循環社会推進課 建築課
		京都市が浄化槽の適正な管理の確保のための指導等を図る	個別訪問による啓発用リーフレットの配布及び浄化槽放流水の採水調査を実施した。	京都府・京都市

	項目	第7期湖沼計画の目標	平成28年～令和2年事業度実績	関係機関
水質の保全のための規制その他の措置	③水環境への負荷の少ないライフスタイルの確立	暮らしと水環境とのつながりや影響を学ぶ環境学習の推進、環境に配慮した生活（エコライフ）に関する情報提供、啓発	子ども向け啓発冊子「おしえてうおーたん！ひわ湖のホントのきもち」や琵琶湖学習入門編である「びわ湖を学ぼう」等の配布や、暮らしと琵琶湖のつながりについて、各方面への出前講座を継続的に実施した。 出前講座は、立命館大学BK6、東山中学校において、暮らしと琵琶湖のつながりについて講義した。 受講 約400名 計17回（H28年度） 約400名 計13回（H29年度） 約350名 計13回（H30年度） 約350名 計9回（R1年度） 約190名 計5回（R2年度）	環境政策課
	(3)畜産に係る汚濁負荷対策			
	①家畜排せつ物の適正な管理	畜産農家へ家畜排せつ物の適正管理の指導	畜産経営環境保全実態調査を実施し、畜産農家の家畜排せつ物に関する管理状況を把握するとともに必要に応じて指導を行った。	畜産課
	②畜舎の管理の適正化	構造および使用方法の規制の遵守徹底等	立入検査や届出の審査の中で指導を実施	環境政策課
	(4)魚類養殖に係る汚濁負荷対策	飼料の投与、へい死魚の適正処理等の指導	飼料の投与、斃死魚の取扱い、医薬品使用についての指導を実施	水産課
	(5)流出水対策			
	①農業地域対策	「県環境こだわり農業推進条例」等に基づき、化学合成農薬等使用量減、農業排水の適正管理等の実施 「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」として農地や農業用施設等の適正管理、農業排水対策の実施 「みずすまし構想」に基づき、農業用排水施設の計画的な整備、農業排水の循環利用などの施策の推進等 京都府においては、化学農薬及び化学肥料の施用量の低減の実施	環境こだわり農産物栽培面積 14,507ha 取組面積 35,956ha みずすまし推進協議会 8協議会 水質浄化施設整備 1地区 環境保全型農業直接支払取組面積 646ha（H28年度） 有機農業を含む環境にやさしい農業の普及啓発 同農業に取り組む農業者をHP等で広く紹介	食のブランド推進課 農村振興課 農村振興課 京都府
	②市街地対策	小水路の清掃、市街地排水浄化施設の整備、透水性舗装の整備、雨水貯留浸透施設の整備、雨水排水の地下浸透工法の活用	モニタリング業務、地中レーダー探査（H28年度）	下水道課
			透水性舗装 20,10千m ² （H28年度） 12,50千m ² （H29年度） 16,25千m ² （H30年度） 18,25千m ² （R1年度） 15,00千m ² （R2年度） 82,10千m ² （合計）	道路整備課
	③自然地域対策	森林等自然地域の適正管理、負荷の実態把握	山地治山総合対策 12箇所 7.9ha（H28年度） 15箇所 7.15ha（H29年度） 16箇所 7.28ha（H30年度） 24箇所 22.60ha（R1年度） 36箇所 15.06ha（R2年度） 水源地域等総合対策 13箇所 127.7ha（H28年度） 12箇所 123.20ha（H29年度） 13箇所 15.22ha（H30年度） 9箇所 88.84ha（R1年度） 14箇所 60.29ha（R2年度） 森林基盤整備（交付金） 21箇所 18.1ha（H28年度） 12箇所 9.31ha（H29年度） 13箇所 15.22ha（H30年度） 12箇所 11.28ha（R1年度） 24箇所 12.53ha（R2年度） 造林事業 1,148ha（H28年度） 1,032ha（H29年度） 979ha（H30年度） 628ha（R1年度） 1,023ha（R2年度）	森林保全課
	④流出水対策地区における重点的な対策の実施	赤野井湾流出水対策推進計画に基づく負荷低減対策の推進	別掲	
	(6)その他の負荷低減対策			

	項目	第7期湖沼計画の目標	平成28年～令和2年事業度実績	関係機関
水質の保全のための規制その他の措置	①琵琶湖におけるレジャー利用の適性化	プレジャーボートの従来型2サイクルエンジンの使用禁止対策	環境対策型エンジン適合証の発行 1,316件（H28年度） 1,403件（H29年度） 1,398件（H30年度） 1,312件（R1年度） 1,419件（R2年度） 6,848件（合計） 適合証の表示状況の監視、指導	琵琶湖保全再生課
	②散在性ごみ防止に係る啓発	環境美化監視員によるごみの散乱防止のための監視・啓発の実施	環境美化監視員によるごみの散乱防止のための監視・啓発パトロール等を実施した。	循環社会推進課
	(7)緑地の保全その他湖辺の自然環境の保護			
	①緑地の保全	関係諸制度の適確な運用による緑地の保全、都市公園の整備	自然公園区域、保安林区域内での開発規制 びわこ地球市民の森(42.5ha)の整備	自然環境保全課ほか 都市計画課
	②湖辺の自然環境の保護	「琵琶湖のヨシ群落の保全に関する条例」に基づく、ヨシ群落保全事業の実施	野洲市菖蒲地区、彦根市新浜地区、長浜市長浜地区でヨシ帯再生のための消波工等を設置し、ヨシ刈り等ヨシ群落保全活動を実施した。	琵琶湖保全再生課
	(8)公共用水域の水質監視			
		琵琶湖51地点、流入河川31地点における、水質監視 底層D〇の監視	琵琶湖51地点、流入河川31地点（R2年度は27地点）において水質監視をおこなった。	国土交通省 水資源機構 琵琶湖保全再生課 国土交通省 水資源機構 琵琶湖保全再生課
			琵琶湖5地点において底層D〇の監視をおこなった。また、琵琶湖6地点においては補足調査をおこなった。 R2年度は、負酸素の水域が広範囲に広がったことから、測定計画の地点や頻度以外に、県で水深60m付近までの多くの地点で調査をするともに、関係機関や大学とも協力して調査を実施した。	国土交通省 水資源機構 琵琶湖保全再生課
		ブラシグトン調査の実施等 モニタリングの改善	北湖3地点、南湖1地点においてブラシグトン調査をおこなった。 モニタリングの見直しに関して、関係機関と調整を行い、環境審議会で報告した。	琵琶湖保全再生課 琵琶湖保全再生課
	(9)調査研究の推進	各種調査研究の推進 ・有機物収支の把握に関する研究	中長期的な再現・予測ができるように琵琶湖流域物質循環モデルを改良し、過去10ヶ年における物質循環を再現できるパラメータを見いだしたほか、気象要因により、流入負荷量は近20年間については減少傾向にない可能性が示唆された。 沿岸帯と沖帯でサイズ別植ブラの生産量、動ブラの現存量や摂食量等の調査を実施し、沖帯より沿岸帯で動ブラの生産性は高く、夏は微生物を、それ以外は藻類を多く同化していることが明らかになった。溶存有機物の分画・濃縮や、有機物の生成源を特定するための化学分析法を開発し、また炭素や栄養塩のモニタリング、第8期湖沼計画に向けた生分解試験等を実施した。	琵琶湖環境科学研究センター
			有識者で構成する懇話会を開催し、調査研究の進捗状況を報告するとともに、琵琶湖の健全性評価手法等について意見交換をおこなった（R2.1.20）	琵琶湖保全再生課
		・在来魚類のにぎわい復活に向けた琵琶湖およびその集水域での生態系の保全、修復方法の調査研究	湖辺や河川において、地域住民等とも協働した在来魚類のにぎわい復活に向けた実証的な研究を進めるとともに、平成29年度から令和元年度までの成果を「第2期研究成果報告書」として取りまとめた。	環境政策課
		・底層D〇モニタリング方法の構築	公共用水域水質測定計画等に基づき2～4回/月の水深別のD〇のモニタリングを実施した。 R2年度は、北湖深水層のD〇の特異的な低下と水質変動の状況、3年ぶりの全層循環等について広報資料を作成し、提供した。 測定結果についてはセンターHPに掲載し公表を行った。	琵琶湖環境科学研究センター

	項目	第7期湖沼計画の目標	平成28年～令和2年事業度実績	関係機関
水質の保全のための規制その他の措置		・水草管理による生態系再生に向けた調査研究	①湖底環境の質の指標として、南湖52地点および15地点（年5回）の底泥の炭素量を測定し、データの整理を行った。 ②南湖52地点において糸状藻類の繁茂拡大の有無を確認するとともに、水草高、湖底直上溶存酸素濃度の測定、環境DNAによる魚類相を調査した。 ③水草消長モデルの改良を行い、南湖における水草量の平面分布の再現が行えるようになった。また、1980年代と1930年代の水草量の再現を行った。	琵琶湖環境科学研究センター
		・赤野井湾での水質汚濁メカニズム解明のための調査、解析	湾内の水質調査・プランクトン調査の実施。 湾内の底質環境・底生生物生息状況調査の実施。	琵琶湖環境科学研究センター 琵琶湖保全再生課
		・琵琶湖の環境保全に資する森林づくりに関する調査研究を実施	ゾーニングの条件、省力的な再造林・森林更新および森林土壌保全、高齢林の林分構造および森林の価値に関する調査研究を実施	琵琶湖環境科学研究センター
		・底質改善事業の評価のための赤野井湾の底質や底生生物等のモニタリング調査を実施	赤野井湾の底質調査を実施した。	流域政策局
		・良好な漁場を保全するための調査研究を実施	漁場の悪化要因、魚介類資源の回復に向けた技術開発研究を実施	水産課
	(10) 自然生態系の保全と自然浄化機能の回復			
	① 森林・農地等の保全と利用	里山林の保全・確保	農村振興総合整備事業 2地区	農村振興課
		水源かん養保安林等の適性な配備	保安林指定 155.7ha (H28年度) 258.0ha (H29年度) 722.2ha (H30年度) 411.0ha (R1年度) 520.9ha (R2年度) 2,067.8ha (合計)	森林保全課
	② 流域における対策	里山林の生態系保全と自然浄化対策を推進	ため池整備 5か所	農村振興課
		魚のゆりかご永田プロジェクトの実施	取組地域 29地域 148ha (期間中最大)	農村振興課
		琵琶湖とつながる生きものの田んぼ物語創造プロジェクト等の実施	魚のゆりかご永田米リニブレット作成、PR 魚道設置研修、生きものの調査の実施	農村振興課
	③ 湖辺における対策	自然湖岸の再生、砂浜の保全 前浜の維持管理	砂浜保全 (2箇所継続) 前浜の巡視点検とモニタリング調査実施	流域政策局 (独) 水資源機構
		早崎内湖をはじめとした内湖本来の機能の保全および再生、ピオトープ活用の推進	早崎内湖生物モニタリング調査、地域主体型環境調査、水管理業務、北区築堤工事、北区内湖環境整備をおこなった。	琵琶湖保全再生課
	④ 湖沼生態の保全と回復	面有の魚類等の種苗の放流	ピオトープを活用した環境学習会を実施した。	(独) 水資源機構
		外来魚の駆除・繁殖抑制	7種苗の放流 (ニゴロブナ、ビワマス、ホシモロコ、ウナギ、ワタカ、セタシジミ) 水産有害生物駆除事業によるブラックバス、ブルーギルの捕獲 216t (H28年度) 176t (H29年度) 93t (H30年度) 99t (R1年度) 87t (R2年度) 671t (合計)	水産課
		産卵繁殖場であるヨシ帯の造成や覆砂による砂地の造成	ヨシ帯の造成 2.5ha (合計) 砂地の造成 4.3ha (H28年度) 5.0ha (H29年度) 2.0ha (H30年度) 4.3ha (R1年度) 3.8ha (R2年度) 19.4ha (合計)	水産課

	項目	第7期湖沼計画の目標	平成28年～令和2年事業実績	関係機関
水質の保全のための規制その他の措置		侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業	○オオバナミズキンバイ等の侵略的外来水生植物の徹底的な駆除を実施 18.4万m² (H28年度) 7.0万m² (H29年度) 3.8万m² (H30年度) 1.9万m² (R1年度) 1.6万m² (R2年度) 32.7万m² (延べ合計) ○駆除後の大規模再生を防止するための巡回・監視・早期駆除を重点的に実施 ○オオバナミズキンバイ等の侵入防止のためのフェンス等施設の構造・設置方法の検討と試験設置	自然環境保全課
	(11) 地域住民等の協力の確保 ① 地域住民等の参画の促進	河川整備計画策定時に圏域ごとに住民説明会を開催 森林ボランティア活動を支援	湖北圏域河川整備計画の策定・変更時に住民説明会を開催 4回 (合計) 支援団体 44団体 (H28年度) 24団体 (H29年度) 26団体 (H30年度) 21団体 (R1年度) 16団体 (R2年度) 131団体 (延べ合計)	流域政策局
		環境美化活動の実施	各管内で5/30、7/1、12/1を基準日とし、環境美化活動を実施した 延べ参加人数 232,979人 (H28年度) 249,338人 (H29年度) 266,195人 (H30年度) 231,814人 (R1年度) 133,812人 (R2年度) 1,114,138人 (延べ合計)	循環社会推進課
	② 環境学習の推進と環境保全活動の支援	環境学習活動への支援、指導者養成等	環境学習センターへの相談件数 195件 (H28年度) 180件 (H29年度) 192件 (H30年度) 285件 (R1年度) 134件 (R2年度) 986件 (合計)	環境政策課
	③ 流域における住民活動への支援	情報発信などによる支援	びわ湖まちかどむらかど環境塾の開催 12回 (H28年度) 18回 (H29年度) 14回 (H30年度) 5回 (R1年度) 3回 (R2年度) 52回 (合計)	琵琶湖保全再生課
	④ 多様な主体の参画促進	県民や活動団体の交流の場の提供と、マザーレイク21計画の評価等を行う場を設置	マザーレイクフォーラムびわこ会議の開催 参加者数 212人 (H28年度) 211人 (H29年度) 179人 (H30年度) 192人 (R1年度) 235人 (R2年度) 794人 (合計) 参加団体数 76団体 (H28年度) 88団体 (H29年度) 90団体 (H30年度) 96団体 (R1年度) -団体 (R2年度) 350団体 (合計)	琵琶湖保全再生課
		しがのNPO・協働情報発信「ブラントフォーラム」事業の実施	・協働ブラントフォーラムの開催 開催数 9回 (H28年度) 8回 (H29年度) 7回 (H30年度) 5回 (R1年度) 29回 (合計) 延べ参加人数 146人 (H28年度) 168人 (H29年度) 117人 (H30年度) 73人 (R1年度) 504人 (合計) ・「協働ネットしが」を運用し、NPO等の団体が、HPに直接記事を掲載、写真や動画を用い活動情報やイベント情報の発信等を行った。	県民活動生活課
	⑤ 啓発活動	琵琶湖の水質状況、本計画の趣旨、内容等の普及啓発	出前講座の実施やHPにおいて琵琶湖水質状況等について情報提供をおこなった。	琵琶湖保全再生課
	(12) 南湖における水質保全対策	東岸部3地区の流入負荷削減	各種水質保全対策を実施した。	琵琶湖保全再生課 (関係機関)
	(13) 南湖の再生プロジェクト	南湖の再生	各種水質保全対策を実施した。	琵琶湖保全再生課
	(14) 関係地域計画との整合	—		
	(15) 事業者に対する助成	融資制度の活用による污水处理施設の整備等の促進	実施	中小企業支援課

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第3期）の取組進捗状況について

	項目	第3期計画の目標	平成28年～令和2年事業度実績	関係機関
赤野井湾流域流出水の改善に資する具体的方策に関すること	(1)農業排水対策 ①水稲栽培における環境こだわり農業の推進	環境こだわり農業による生産拡大	J A おうみ富士の営農指導を得る中、環境こだわり農業の推進を行い、生産拡大が図れるよう土地改良施設（琵琶湖からの逆水施設）の管理に努めた。 区内上流部地域での代掻きや田植期の田排水を中流部で用水に再利用し、その排水を下流部での用水に再利用する循環型で濁水の防止に努め、排水対策を講じた。 環境こだわり栽培における水稲作付面積は、J A おうみ富士守山管内において282.1haの取組（内、みずかがみは123.3ha） 260ha（26,008a） ・県環境こだわり農業推進条例に基づき、環境保全型農業直接支払交付金や市の環境こだわり農産物育成補助金を措置して、作付を助奨、奨励した。 ※実施主体 JAおうみ富士エコ富士米部会／特別栽培米研究会／満田会／JAレーク大津「みずかがみ」研究会／俊ちゃん農園／他1件	守山南部土地改良区 法竜川沿岸土地改良区 J A おうみ富士 守山市
	②麦栽培における緩効性肥料等による施肥改善の推進	肥料の流出負荷削減を図る。	J A おうみ富士の営農指導を得る中、田地からの肥料流出削減を行い、内湖の水質保全対策に取り組んだ。 J A おうみ富士の指導により実施 緩効性肥料（元肥－発肥料）の推進を継続して行った。施肥率は約68%。	守山南部土地改良区 法竜川沿岸土地改良区 J A おうみ富士
	③農業用プラスチック類や不要農薬の回収	廃プラスチック回収 年1回 不要農薬回収 2年に1回	回収量 27.0t（H28年度） 44.5t（H29年度、特別回収含む） 38.8t（H30年度） 26.7t（R1年度） 33.1t（R2年度） 170.1t（合計） 不要農薬、農業空容器を含み、3.2トンの回収であった。（R1年度のみ実施）	J A おうみ富士 J A おうみ富士
	④集落における濁水流出防止等の啓発	農業組合長会議の実施、農談会の実施	集落農談会を7月・2月に実施し、濁水流出防止等の啓発を行った。 農業組合長会議において51農業組合に対し、濁水流出防止のチラシを配付し、啓発を実施。また、各種会議の機会を通じ啓発を行っていく。	J A おうみ富士 守山市
	⑤「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」制度を活用した活動の推進	17組織（H27）→22組織（H32）	18組織 ・施設の点検（用排水、農道、ポンプ場等） ・圃場の排水路の点検 ・代かき期～田植期の漏水の確認および水質調査 ・芝桜植栽及び除草作業 ・幹線排水路及び浄化池周辺の水生植物の刈り取り ・圃場排水路の泥上げ	木浜の資源環境を守る会 他17組織
	⑥循環かんがい施設の使用	毎年、かんがい期に使用する。 浄化池は「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」を活用し適正に維持管理を行う。	当改良区の取水口は赤野井湾内から取水しており、一定の水質循環が図られていると想定されるが、循環かんがい施設の使用については、内湖でのスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の繁殖が続いていたため、施設の運転は取りやめた。 木浜土地改良区、木浜の資源環境を守る会、水利組合にて、代かき期から田植期を主に、北部揚水機場および南部揚水機場を働かせ、用水路に合流させる循環式用水の利用を実施した。	守山南部土地改良区 木浜土地改良区
	(2)市街地排水対策 ①守山渠東雨水幹線整備事業の推進	供用面積99.0ha（H27）→供用面積142.4ha（H32）	供用面積 110.9ha ※守山市との合計供用面積 142.4ha 供用面積 31.5ha	下水道課 守山市
	②県道・市道の透水性舗装の整備	市道：歩道設置延長（予定） 下之郷630m：210m（H28）、420m（H29） 焰魔堂650m：250m（H30）、200m（H31）、200m（H32） 県道：歩道設置延長 赤野井守山線（古身～下之郷）延長1182m 歩道幅2m	古高川田線道路改良工事 L=400m（両側）（H28年度） L=230m（H29年度） 勝部吉身線道路改良工事（県道片岡渠東線～二町路切道）：L=760m 一般県道赤野井守山線（古身～下之郷） L=1142m（H28～H30年度整備） L=40m（R1年度用地取得）歩道幅2m	守山市 道路整備課

	項目	第3期計画の目標	平成28年～令和2年事業度実績	関係機関
赤野井湾流域流出水の改善に資する具体的方策に関する事	(3) 河川等の浄化対策			
	① 浄化施設を整備・検討	天神川、新守山川、法竜川の河口部において取り組む。	植生浄化施設の設計見直し、整備を進めた。	流域政策局
	② 浄化施設の維持・運用	天神川、山賀川、塚川、守山川の河口部における施設にて実施	守山川、天神川の浄化施設維持管理を実施した。	流域政策局
	③ 環境配慮型の堤脚水路の維持管理	道の駅草津から塚川までの一部区間におけるピオトープにて実施	湖岸堤道路沿いの水路（堤脚水路）周辺で除草、ゴミ回収を行った。また、水草の発生に対し巡回監視を行った。琵琶湖保全再生課が行うピオトープの維持管理及び自然観察会に協力した。	(独) 水資源機構
			ピオトープの維持管理を実施するとともに、自然観察会を開催 参加者 22名 (H29年度) 24名 (H30年度) 33名 (R1年度) 26名 (R2年度) 105名 (合計)	琵琶湖保全再生課
	④ 河川の浚渫等の実施	流域において実施	(H28年度) ・ 守山川（岡地区）護岸改修工事 L=35m ・ 幸津川里中河川改修工事 L=70m ・ 吉身里中河川（二丁目地先他）改修工事 L=310m ・ 樋ノ口川護岸改修工事 L=130m ・ 千代里中河川護岸改修工事 L=50m ・ 守山里中河川（守山二丁目）護岸改修工事 L=70m ・ 古高里中河川改修工事 L=30m (H29年度) ・ 樋ノ口川護岸改修工事 L=60m ・ 樋ノ口川護岸改修工事 L=100m ・ 千代里中河川護岸改修工事 L=50m ・ 勝部里中河川護岸改修工事 L=160m ・ 江西川護岸改修工事 L=100m ・ 今宿川護岸改修工事 L=40m ・ 市内小河川浚渫・修繕工事 (H30年度) ・ 今宿川護岸改修工事 L=40m ・ 吉身里中河川（吉身中町）改修工事 L=40m ・ 古高里中河川（146番地付近）護岸改修工事 L=50m ・ 江西川護岸改修工事 L=40m ・ 古高里中河川（157番地付近）護岸改修工事 L=50m ・ 石田川護岸補強工事 L=70m ・ 法竜川支線（今市地区）護岸改修工事 L=40m ・ 樋ノ口川護岸改修工事 L=100m ・ 市内小河川浚渫・修繕工事 (R元年度) ・ 樋ノ口川護岸改修工事 L=60m ・ 法竜川支線（今市地区）護岸改修工事 L=40m ・ 勝部里中河川護岸改修工事 L=190m ・ テロス川改修工事 L=70m ・ 伊勢里中河川護岸改修工事 L=20m ・ 吉身里中河川改修工事 L=60m ・ 今市里中河川浚渫工事 L=60m ・ 江西川浚渫工事 L=50m (R2年度) ・ 守山川他浚渫工事 L=209.6m ・ 深津川浚渫工事 L=59m	守山市
	⑤ 河川の生態環境の保全	非かんがい期における河川の水量確保のための調査 河川の生きものに関する調査	水質調査を行い、非灌漑期の水量の問題を他団体と共有した。 ・ 河川の水生生物調査を毎年度11月に実施。目田川の生き物図鑑（魚類・水生昆虫編）を資料とした。（各年度） ・ ホタル飛翔調査を実施（各年度） 5月中旬～6月中旬	NP0法人びわこ豊稷の郷
	⑥ 漏水の放流	市内の河川にて実施	揚水機稼働（各年度） 樋ノ口川 ・ 稼働時期 10月1日～3月31日 ・ 稼働時間 必要時随時 案内川 ・ 稼働時期 4月1日～3月31日 ・ 稼働時間 16時間/日 宮川池 ・ 稼働時期 4月1日～3月31日 ※H28年度は10月11日以降停止 ・ 稼働時間 必要時随時 目田川（令和2年度） ・ 稼働時期 4月1日～年3月31日 ・ 稼働時間 24時間/日	守山市

	項目	第3期計画の目標	平成28年～令和2年事業度実績	関係機関
赤野井湾流域流出水の改善に資する具体的方策に関する事	⑦水と緑の潤いのあるまちづくり事業の実施	自治会の設置する揚水ポンプ設置への補助および電気料金の補助	・揚水機の電気代補助：21自治会（各年度） ・揚水機の修繕：10自治会（延べ合計） ・水生植物の育成：2自治会（延べ合計）	守山市
	⑧河川等の清掃活動の実施			
	○清掃、草刈り、底泥の除去等	月1回（4月～11月）	・河川の底泥を除去 ・河川周辺の一斉清掃（7月、11月） ・河川周辺の清掃（月1回）	木浜自治会
	○木浜内湖のゴミ等の除去	・年2～3回　・年1回	・木浜内湖のゴミを除去（月1回）	木浜自治会
	○「自然の川づくり事業」の推進	地域からの広い参加	・「目田川モデル河川づくり」活動の継続。《毎月第3土曜日》（各年度） ・環境学習　啓発　体験の場の提供と推進。 ・赤野井湾探検会、1回/年（各年度） ・目田川では、水辺の楽校（3回/年）実施 ・企業と連携し「自然体験教室」（R1、2年度） ・「守山の水辺百選」を活用して、水辺百選講座の実施（各年度実施） ・保育園児、幼稚園児によるホタルの幼虫放流を実施（各年度） ・夏休み生き物教室（R2年度） ・赤野井湾、小津袋クリーン大作戦（各年度、R1除く） ・ごみ拾い及びオオバナミズキンバイの除去活動 多くの団体・企業・市民・行政等と連携し実施 ・河川クリーン作戦　法竜川（R1年度）吉見川（R2年度） ・あつまれみんなの川づくり、市立図書館横目田川（R2年度）	NPO法人びわこ豊稜の郷
	○湾内・湖岸のゴミの除去	・年4回 ・年4回および出漁時	実施 ・湾内ゴミ堆積物除去活動　年4～9回実施（各年度） ・出漁時ゴミ堆積物持ち帰り運動（各年度） ・台風後、浮遊ゴミ除去活動（H30年度） ・湖底ゴミ堆積除去活動（H30、R1、R2年度）	守山漁業協同組合
			守山市湖岸清掃運動 参加者　170人（H28年度） 180人（H29年度） 194人（H30年度） 153人（R1年度） 485人（R2年度） ごみ回収量　約1,060kg（H28年度） 約3,370kg（H29年度） 約1,360kg（H30年度） 約　890kg（R1年度） 約1,093kg（R2年度）	守山市
			・赤野井湾再生プロジェクト主催 琵琶湖の湖底ゴミ除去活動 参加者　110人（H30年度） 186人（R1年度） 290人（R2年度） 湖底ゴミ回収量 680kg（H30年度） 322kg（内プラゴミ170kg）（R1年度） 313kg（内プラゴミ146kg）（R2年度） 陸上ゴミ回収量　180kg（R1年度） ・（琵琶湖保全再生課） 赤野井湾再生プロジェクト主催の琵琶湖の湖底ゴミ除去活動に併せて、湖底ごみの実態把握調査を実施した。	守山市（赤野井湾再生プロジェクト）

	項目	第3期計画の目標	平成28年～令和2年事業度実績	関係機関
赤野井湾流域流出水の改善に資する具体的方策に関する事	○市内の河川の清掃活動を支援	市内流域にて実施	ごみのない美しいまちづくり運動 自治会が町内の清掃を実施 ・実施自治会 66自治会 (H28年度) 67自治会 (H29年度) 67自治会 (H30年度) 67自治会 (R1年度) 68自治会 (R2年度) ・搬入量 草: 85,720kg 破砕: 6,050kg 樹木: 21,680kg ヘドロ: 100m³ (H28年度) 草: 89,310kg 破砕: 13,620kg 樹木: 36,330kg ヘドロ: 40m³ (H29年度) 草: 98,130kg 破砕: 9,210kg 樹木: 35,290kg ヘドロ: 100m³ (H30年度) 草: 95,740kg 破砕: 9,870kg 樹木: 37,580kg ヘドロ: 57m³ (R1年度) 草: 100,860kg 破砕: 5,820kg 樹木: 37,920kg ヘドロ: 43m³ (R2年度)	守山市自治連合会 守山市
			河川愛護活動 自治会が河川清掃を実施 ・実施自治会 66自治会 (H28年度) 66自治会 (H29年度) 67自治会 (H30年度) 68自治会 (R1年度) 64自治会 (R2年度) ・搬入量 草: 198,030kg 破砕: 7,260kg 樹木: 24,980kg ヘドロ: 53m³ (H28年度) 草: 178,870kg 破砕: 4,350kg 樹木: 35,120kg ヘドロ: 54m³ (H29年度) 草: 614,340kg 破砕: 28,770kg 樹木: 145,500kg ヘドロ: 66m³ (H30年度) 草: 197,920kg 破砕: 5,880kg 樹木: 30,340kg ヘドロ: 46m³ (R1年度) 草: 171,720kg 破砕: 9,530kg 樹木: 27,650kg ヘドロ: 40m³ (R2年度)	
	(4) 湾内の環境改善対策			玉津小津漁業協同組合 琵琶湖保全再生課 水産課
	①湾内における水生植物の刈取り ○ハス等水生植物の表層刈取り	湾内において実施	ヒシの漁場繁茂によりマンガンにて除去実施 堺川河口における表層刈取りを実施 (H28, H29)	玉津小津漁業協同組合 琵琶湖保全再生課
	②湾口部における水生植物の刈取り ○コカナダモ等水生植物の表層刈取り、根こそぎ除去	湾口部において実施	水草根こそぎ除去 424.8t (H28年度) 438.1t (H29年度) 431.9t (H30年度) 431.0t (R1年度) 396.5t (R2年度)	水産課

	項目	第3期計画の目標	平成28年～令和2年事業度実績	関係機関
	(5) 自然生態系の保全と回復			玉津小津漁業協同組合 守山市 木浜の資源環境を守る会 水産課 NPO法人びわこ豊穡の郷 守山漁業協同組合 自然環境保全課 草津市 自然環境保全課 琵琶湖保全再生課
	①ゆりかご水田事業の実施	年5～7回	ニゴロブナ・ホンモロコ稚魚放流を実施 水田 1,500a (H28年度) 1,500a (H29年度) 1,520a (H30年度) 110a (R1年度) 1,300a (R2年度)	玉津小津漁業協同組合
			・稚魚の放流実施（田植期から中干しまで） ・稚魚の放流 937,500匹程度（平成28年度） 937,500匹程度（平成29年度） 937,500匹程度（平成30年度） 937,500匹程度（令和1年度） 618,775匹程度（令和2年度） ・4～6集落および個人（2名）で実施 実施集落 479.2a（平成28年度） 482.3a（平成29年度） 491.0a（平成30年度） 496.0a（令和1年度） 319.7a（令和2年度） ・赤野井町、木浜町、今浜町、幸津川町、川田町喜多、石田町（個人）、欲賀町（個人）	守山市
	②魚のゆりかご水田プロジェクトの実施	魚類が遡上しやすい魚道の設置	魚道の設置（H29年度） 生き物調査を実施（H30年度）	木浜の資源環境を守る会
	③ホンモロコ・ニゴロブナ仔魚の水田放流		ホンモロコ仔魚 2,037千尾（H28年度） 2,060千尾（H29年度） 2,028千尾（H30年度） 2,040千尾（R1年度） 2,040千尾（R2年度） ニゴロブナ仔魚 2,035千尾（H28年度） 2,009千尾（H29年度） 2,018千尾（H30年度） 2,050千尾（R1年度） 2,020千尾（R2年度）	水産課
	④外来魚の集中駆除		・電気ショッカーボートによる駆除を実施 実施日数 20日（H28年度） 20日（H29年度） 31日（H30年度） 39日（R1年度） 24日（R2年度） オオクチバス駆除数 1,000kg（H28年度） 1,634kg（H29年度） 3,269kg（H30年度） 1,158kg（R1年度） 2,204kg（R2年度） ブルーギル駆除数 242kg（H28年度） 191kg（H29年度） 183kg（H30年度） 36kg（R1年度） 30kg（R2年度） ・タモ網でのオオクチバス仔魚駆除 延べ参加者 92名（H28年度） 102名（H29年度） 72名（H30年度） 50名（R1年度） 73名（R2年度） 駆除数 41万尾（H28年度） 41万尾（H29年度） 32万尾（H30年度） 25万尾（R1年度） 34万尾（R2年度）	水産課
	⑤湾内・河川内でのオオパナミズキンバイをはじめとした外来植物の防除	防除作業を実施、効率的な処分方法の確立。	・赤野井湾・金田井川・新守山川・小津袋・守山芦刈園浄化池に繁茂するオオパナミズキンバイの除去活動を実施 漁場・ヨシ滞のオオパナミズキンバイ除去を実施	NPO法人びわこ豊穡の郷 守山漁業協同組合

	項目	第3期計画の目標	平成28年～令和2年事業度実績	関係機関
赤野井湾流域流出水の改善に資する具体的方策に関すること			・外来水生植物対策協議会事業 巡回監視駆除作業実施 3回（H28年度） 50回（H29年度） 170回（H30年度） 170回（R1年度） ・水産多面的事業実施 12回（H28年度） 40回（H29年度） 40回（H30年度） 40回（R1年度） ・関係団体協賛駆除事業 3回（H30年度） ※R2年度は全ての事業の総計が161回	玉津小津漁業協同組合
			・毎月のウォッチャー活動における継続監視および防除 ・湖底ゴミ除去活動におけるオオバナミズキンバイ等外来植物の防除（H28年度、R2年度）	守山市（赤野井湾再生プロジェクト）
			・オオバナミズキンバイの駆除を実施 約3,800m2（H28年度） 約70,000m2（H29年度） ・駆除跡地において巡回・監視を行い、再生個体を発見した場合は早期駆除を実施。 ・NPO法人びわこ豊種の郷等が行うオオバナミズキンバイ除去作業への必要資材の提供および職員の派遣を実施。 （いずれも琵琶湖外来水生植物対策協議会として実施）	自然環境保全課
	⑥湾内のハスの継続的な調査等の実施	継続的な調査やデータの蓄積等を含め、適切な管理手法の検討を進める。	・ハス群落消滅の原因調査を滋賀県とともに実施（H28年度） ・ハス群落再生の可能性に関する基礎調査実施（H29年度） ・ハス移植実証実験実施（H29年度） ・ハス移植実証実験実施（H30年度） ・生育環境調査、生育状況調査	草津市
			・草津市とともに原因調査を実施（H28年度） ・繁茂状況のモニタリング実施（H28、H29年度） ・草津市実施のハス群落再生の実証実験に協力（H30年度）	自然環境保全課 琵琶湖保全再生課
	(6) 啓発事業およびその他の関連事業			守山市消費生活学習会 環境政策課 草津市 守山市 栗東市 野洲市 湖南・甲賀環境協会 南部環境事務所 湖南流域環境保全協議会 NPO法人びわこ豊種の郷 緑の少年団 （公社）守山青年会議所
	①暮らしの中での実践 ○環境負荷の少ない暮らしの普及啓発	年2回	・総会（各年度） ・地球市民の森にて啓発（H28、H29、R1年度） ・湖岸清掃（H29～R2年度） ・赤野井湾再生プロジェクト（H28～R1年度） ・店頭普及啓発（各年度） ・環境フォーラム（11月3日）にて、材料をまるごと使用したガボチャスープを提供 ・屋台村にて（ゴミ・水）啓発パネル展示（H29～R1年度） ・水環境市民会議視察研修（関西リサイクルセンター）（R1年度） ・消費生活展（各年度） ・食品ロス削減運動（R1、R2年度）	守山市消費生活学習会
	○エコキッチン革命に取り組む。	料理教室等の開催	親子料理教室、大人の料理教室「ごみを出さない」「水を汚さない」を啓発（H28～R1年度）	守山市消費生活学習会

	項目	第3期計画の目標	平成28年～令和2年事業度実績	関係機関
赤野井湾流域流出水の改善に資する具体的方策に関すること	○エコライフの普及啓発を進める	出前講座の実施 第四次滋賀県環境総合計画別冊「淡海のくらし～環境への心づかい～【第二版】」を必要に応じて配布	子ども向け啓発冊子「おしえてうおーたん！びわ湖のホントのきもち」や琵琶湖学習入門編である「びわ湖を学ぼう」等の配布や、暮らしと琵琶湖のつながりについて、各方面への出前講座を継続的に実施 ・出前講座 受講者 約400名（H28年度） 約400名（H29年度） 約350名（H30年度） 約350名（R1年度） 約190名（R2年度） 回数 17回（H28年度） 13回（H29年度） 22回（H30年度） 9回（R1年度） 5回（R2年度）	環境政策課
			啓発冊子を改定しHPに掲載するなどして、現在の社会情勢等を踏まえつつ滋賀県の環境や琵琶湖の保全の重要性を周知するとともに、環境保全行動の実践を促した。	環境政策課
	○河川への油の流出防止の啓発を実施する		市の広報にて市民へ周知するとともに、事業所立入時等に併せて油流出防止の啓発を実施。	草津市
			事業所立入調査時等に、油の流出防止対策について確認し、啓発・指導を実施	守山市
			広報「りっとう」6月号にて「油流出事故に注意」として記事を掲載し、家庭や工場・事業所において油流出防止に関する注意喚起を行った。また、発見時における通報の依頼等も行い、早期対応による被害の拡大防止についても啓発を行った。特に工場に対しては、立入調査時に油を流出させないための指導を行った。	栗東市
			①研修会(平成28年度) 油漏れ事故等の環境事故事例を参考にした研修（参加者：市内事業所環境担当者18名） ②環境メールマガジン（HP掲載） 市ホームページの情報チラシで、市内事業所の環境事故対策訓練（油漏れ事故等）の取組事例を紹介し、油漏れ事故対策の啓発を実施した。（平成28、29年度） ③市と環境保全協定を締結している事業所を3ヶ年計画で全事業所を訪問し、環境設備の状況確認や油漏れ事故対策備品の保有状況等を確認した。 また、環境保全協定を締結している事業所を対象とした環境研修会において、油流出事故防止対策を含む事業者の環境管理について啓発した。	野洲市
②職域での実践		環境情報交換会：年7回	1. 環境情報交換会 2回／年 1) 水質事故被害拡大防止訓練（実地）主催：湖南・甲賀環境協会、滋賀県、共催：消防署、草津・栗東・守山・野洲・湖南・甲賀各市 初級：オイルマットの吸着体験、土嚢の作成と積み方、中級：水路の土嚢の積み方、オイルフェンスの展張 参加者 132名（平成28年度） 132名（平成29年度） 123名（平成30年度） 189名（令和1年度） 90名（令和2年度） 座学：関係先への通報訓練と危険物（油等）の事故事例、予防等学んだ。 参加者 207名（平成28年度） 181名（平成29年度） 180名（平成30年度） 171名（令和1年度） 112名（令和2年度）	湖南・甲賀環境協会
			2) 地区別環境情報交換会 草津市、栗東市、守山市、野洲市、湖南市、甲賀市で実施、令和2年度はHPで情報発信。 参加者 180名（平成28年度） 188名（平成29年度） 161名（平成30年度） 140名（令和1年度） 滋賀県、各市の情報、環境行政の動向と意見交換 ・工場・事業所の立入り状況と環境事故事例による啓発、協会ホームページの活用、洪水ハザードマップ等、環境質問事項に対し、行政、会員の意見交換等	湖南・甲賀環境協会

	項目	第3期計画の目標	平成28年～令和2年事業度実績	関係機関
赤野井湾流域流出水の改善に資する具体的方策に関する事		環境トップセミナー：年1回	参加者 36名（平成28年度） 34名（平成29年度） 41名（平成30年度） 44名（令和1年度） 36名（令和2年度） 訪問先 日本発条(株)滋賀工場（平成28年度） ダイキン工業(株)滋賀製作所（平成29年度） (株)日立建機ティエラ（平成30年度） パナソニック(株)アプライアンス（令和1年度） 基調講演 (一社)滋賀県グリーン購入ネットワーク（平成28年度） ダイキン工業(株)滋賀製作所（平成29年度） (株)日立建機ティエラ（平成30年度） 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター（令和2年度）	湖南・甲賀環境協会
		ごみのポイ捨て禁止啓発活動	南部管内一円でごみのポイ捨て禁止啓発活動を実施した。（約60回/年）	南部環境事務所
		河川への油の流出防止の啓発	環境情報交換会と併せて開催	湖南・甲賀環境協会
	③環境学習の展開			
	○「こなん水環境フォーラム」の開催	年1回	実施せず。	湖南流域環境保全協議会
	○「川づくりフォーラム」の開催	年1回	川づくりフォーラム実施（毎年度）	NPO法人びわこ豊稔の郷
	○子どもの環境教育の推進	野外活動等の実施	①緑の募金活動 ②びわこ地球市民の森のつどいブース出展 ③守山町公園（ふれあい公園）花壇植え替え ④ゆいの里ふれあい訪問 ⑤野外キャンプ ⑥野洲川河川学習（川田町河川公園周辺） ⑦環境学習の実施	緑の少年団
	○子どもの水質保全を学ぶ機会の創出	いかだくんだり大会開催 年1回	野洲川冒険大会いかだくんだり運営協力 ・いかだづくり教室の開催（新庄大橋下河川敷）事前申込みされた参加者と一緒にいかだを作るお手伝い ・いかだコンテストの開催 ・野洲川冒険大会（新庄大橋上流～中洲親水公園）の開催	（公社）守山青年会議所
	○たんぼのご体験事業の実施	市内の小学校で実施	たんぼのご体験事業 ・対象者 市内小学生 ・事業実施面積 47.13a（平成28年度） 35.00a（平成29年度） 54.09a（平成30年度） 55.36a（令和1年度） 55.36a（令和2年度） ・参加者 903名（平成28年度） 766名（平成29年度） 800名（平成30年度） 879名（令和1年度） 879名（令和2年度） ・実施時期および内容（米） 5月中旬～6月上旬 田植え 10月頃 稲刈り ・実施時期および内容（さつまいも） 5月下旬 苗植え 10月下旬 いもほり	守山市
	○地域環境に学ぶ体験学習を実施	市内の幼稚園、小・中学校で実施	スクール農園 市内全幼稚園およびこども園、小学校にて農園を開設し栽培体験を実施 市内幼稚園・こども園 9園 市内小学校 8校（H28年度） 市内幼稚園・こども園 9園 市内小学校 8校（H29年度） 市内幼稚園・こども園 9園 市内小学校 8校（H30年度） 市内幼稚園・こども園 9園 市内小学校 8校（R1年度） 市内幼稚園・こども園 9園 市内小学校 8校（R2年度）	守山市
	○環境学習教材の貸出しや環境講座への講師派遣		環境学習教材貸出 51件（H28年度） 49件（H29年度） 38件（H30年度） 36件（R1年度） 15件（R2年度） 講師派遣 13件（H28年度） 14件（H29年度） 12件（H30年度） 14件（R1年度） 10件（R2年度）	草津市

	項目	第3期計画の目標	平成28年～令和2年事業年度実績	関係機関
赤野井湾流域流出水の改善に資する具体的方策に関する事	○取組の広報・啓発		広報用パンフレットを関係機関へ配布	環境政策課
	(7) 環境モニタリング			水産課 守山市 流域政策局 琵琶湖保全再生課 NPO法人豊稷の郷 学識経験者
	①湾内のモニタリングの実施			
	○イケチョウガイの成育状況のモニタリング	イケチョウ貝の生育調査	・真珠母貝の垂下による成長・生残の追跡調査。 ・貝類餌料環境に関する水質調査。 ・真珠母貝は各年度良好な成長を示した。	水産課
	○水質（内湖）のモニタリング	年2回	内湖水質調査 ・調査地点：5地点 ・調査場所：木浜内湖釣り桟橋東端、赤野井漁港東側の橋付近、天神川樋門東側、木浜内湖1号水路（2地点） ・調査日：7月、12月	守山市
	○底泥、生息生物のモニタリング	年1回	・浚渫覆砂事業実施水域での効果評価。 ・覆砂区の浮泥堆積状況、底生生物生息状況、水草繁茂状況を調査。	水産課
	○水質、底泥、生息生物のモニタリング	年1～12回	水質・底質のモニタリング調査等を実施した。	流域政策局
			・水質調査を毎月1回実施 ・底質調査を8月、12月に実施	琵琶湖保全再生課
	②流入河川の水質モニタリングの実施			
	○市内8河川の水質モニタリング	年5回	・守山市内河川80地点の水質調査を継続して実施（年4回と代かき時） 「身近な水環境の全国一斉調査」参加 調査地点：12地点 ・目田川ごみ調査実施（毎月1回）	NPO法人びわこ豊稷の郷
	○市内14河川の水質モニタリング	年6回程度	河川水質調査 ・調査地点 17地点 ・調査場所 守山川、山賀川、石田川、法竜川、堺川、三反田川、樋ノ口川、金田井川、吉川川、江西川、三津川、ミソウチ川、野洲川右岸側水路 ・調査回数 年6回以内	守山市
	○守山川の水質モニタリング	年12回	守山川（県道大津守山近江八幡線の交叉地点）において実施	琵琶湖保全再生課
	③湾の水質汚濁メカニズムの調査・研究	③湾の水質汚濁メカニズムの調査・研究		
	○湾内の水質の動向等についての研究		実績なし	学識経験者
	○湾の水質汚濁メカニズムの解明		赤野井湾の底質・底生生物の調査を実施	琵琶湖保全再生課
	④モニタリング結果の集約、整理、発信	モニタリング結果の収集および結果の整理と関係者への還元	・市内8河川の水質調査結果（約80地点）の整理実施 ・「赤野井湾再生プロジェクト」に参加し他団体と連携してゴミ、水草、湾内の水質調査等実施。情報発信と、更に県への提言に努めた。	NPO法人びわこ豊稷の郷

7. 第7期計画の水質目標の達成状況

(mg/l)

	項 目	目標値	R2 年度 測定値	達成 状況	計画期間中 最小～最大
北湖	COD (75%値)	2.8	2.8	○	2.6～2.9
	COD (年平均値)	2.4	2.5	×	2.3～2.5
	全窒素 (年平均値)	0.24	0.20	○	0.20～0.22
南湖	COD (75%値)	4.6	5.3	×	4.1～5.3
	COD (年平均値)	3.2	3.5	×	3.2～3.5
	全窒素 (年平均値)	0.24	0.24	○	0.22～0.32
	全りん(年平均値)	0.012	0.015	×	0.011～0.015

※北湖の全りんは、環境基準を満たしているため目標値を設定していない。
 ※COD(75%値)、全窒素および全りんは、各環境基準点の最高値である。
 ※COD(年平均値)は、各環境基準点の年平均値の全地点平均値である。